

CT用造影剤に関する同意書

別紙【CT用造影剤の使用(注射)の説明書】の説明により、必要な場合には造影剤を使用した検査を受けることについて理解できましたので、その実施に同意します。なお、実施中に緊急の処置を行う必要が生じた場合には、適宜処置されることについても同意します。

大久保病院長 様

年 月 日

本人 氏名

家族等 氏名

患者との続柄： []

担当医

説明者

検査実施予定日： 年 月 日

CT用造影剤使用に関する質問項目

下記の質問項目に対して、当てはまる方を口にチェックして下さい。

● 今までに CT の検査・治療で造影剤を使ったことがありますか。 はい いいえ

● 今までに MR の検査・治療で造影剤を使ったことがありますか。 はい いいえ

※ 造影剤を使用した方は、使用後に発疹など副作用と思われる症状が出ましたか。 はい いいえ
「はい」の場合は、検査名・症状を入力

● 腎臓が悪いと言われたことがありますか。 はい いいえ

採血データ CRE : eGFR :
基準値 0.5~1.2mg/dl 基準値 60.0ml/分/1.73m²以上

● 飲み薬、注射で副作用症状が出たことがありますか。 はい いいえ

「はい」の場合は、検査名・症状を入力

● 現在、ビッグナイド系糖尿病用薬剤を服用していますか。 はい いいえ

メルピン錠 メドレット錠 ネルビス錠 メトリオン錠 グリコラン錠 メトホルミン塩酸塩錠 不明

● 喘息（ぜんそく）と言われたことがありますか。 はい いいえ

「はい」の場合は、最終発作・現在の治療状況を入力

● 甲状腺機能亢進症と言われたことがありますか。 はい いいえ

採血データ FT3 : FT4 : TSH :
基準値 : 3.72以上 基準値 : 1.49以上 基準値 : 0.34以下

「はい」の場合は、治療状況を入力

● ベータブロッカー剤を服用していますか。 はい いいえ

インデラル セロケン テノーミン メインテート セレクトール
アーチスト トランデート アルマール 不明

● 現在、妊娠中（可能性を含む）ですか。 はい いいえ

● 現在、授乳中ですか。 はい いいえ

年 月 日

身長 : cm

氏名 : _____

体重 : kg

問診者 : _____

CT用造影剤の使用(注射)の説明書(地域連携用)

1. 目的

今回実施する検査では、ヨード造影剤(以下、造影剤)という検査薬を使用します。CT検査は造影剤を使用しなくても行えますが、疾患によっては造影剤を使用しないと診断ができない場合があります。

2. ヨード造影剤とは？

血管の様子、病気の広がりを正確に評価する為に使用します。造影剤は通常、投与後24時間で投与量の約93～99%が腎臓から尿として体外に排泄され、最終的には体内には全く残りません。造影剤の安全性は確立されていますが、まれに副作用が起こることがあります。より安全な検査を行うため、使用前には腎臓の機能を表すデータ、造影剤既往歴などの質問をさせていただきます。

3. 副作用や発生頻度について

<軽い副作用>

吐き気・動悸・頭痛・かゆみ・くしゃみ・発疹など(100～200人に1人)。

これらの症状は自然に軽快していきませんが、症状の程度により薬による治療を行うことがあります。

<重い副作用>

呼吸困難・意識障害・血圧低下など(25万人に1人)。

その症状に応じて適切な対応をいたします。症状・体質によっては非常に稀ですが約40万人に1人の割合で死亡する場合があります。(これは通常の注射薬と比較して、頻度がとても高いわけではありません)

※造影剤と一部の内服薬を併用することで、副作用が出やすくなる場合があります。お薬によっては、検査担当者より薬の内服方法について指示を出すことがあります。

4. 造影剤投与について

通常、静脈からの注射で行います。造影剤の注入に伴い、体が温かくなる場合がありますが血管に対する直接の刺激による正常な反応であり、注入後から自然に軽快しますので心配ありません。

造影剤の注入は通常の点滴より急速に行いますので、血管外に造影剤が漏れることがあります。この場合には、注射した部位が腫れて痛みを伴うこともあります。通常、自然に腫れは吸収され消失しますが、もれた量が多量である場合は治療が必要になる場合もあります。

5. 備考

万が一、合併症・偶発症が起きた際はそれに対する最善の処置、治療を行います。

<< 注意 >>

検査の際、食事を制限させていただいております。

腹部を検査される方は、検査2時間前(時 分)から食事を摂らないで下さい。

※水やお茶は検査直前まで摂ってもらって結構です。(ジュース・乳製品・アルコールは避けて下さい)

※糖尿病などで食事のコントロールをされている方は、担当医師に相談して下さい。

※ご不明な点は検査当日、担当技師にお訪ね下さい。